

今月のKYT（危険予知トレーニング）

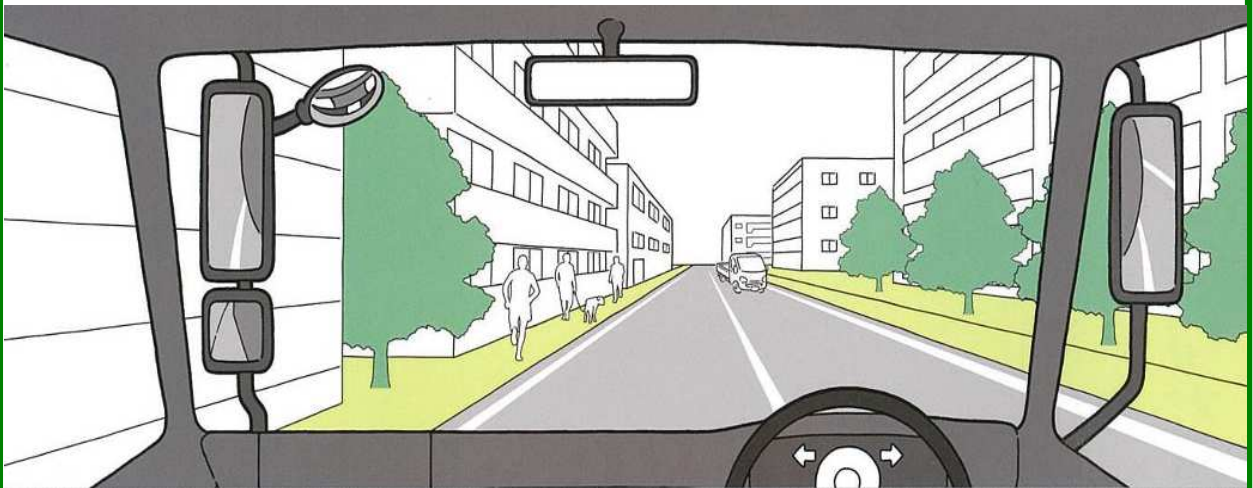
◆ 交通量の少ない片側1車線の道路を走行中です。

- 前方には先行車もなく、対向車線に1車両が走行しています。
- 歩道には、ジョギングや犬の散歩をしている人たちがいます。
- 自車はこのまま直進したいのですが…

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どんな危険が潜んでいますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 _____

1 _____

2 _____

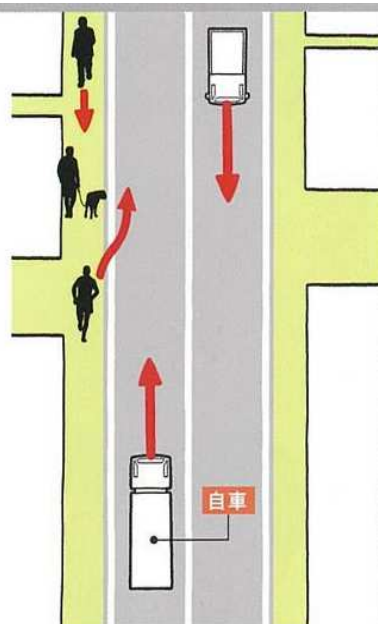
3 _____

このような危険が!**✓ 車道をジョギングする人との接触**

- ・ジョギングをしている人が、犬を散歩させている前方の人を避けるため、歩道から急に車道に飛び出てくる場合がある。中にはイヤホンを付け、周囲の音が聞こえにくい人も。
- ・道がすいているため気がつかないうちに速度を出してしまい、とっさの対応ができない可能性がある。

✓ 対向車との衝突

- ・飛び出した歩行者に驚き、慌ててハンドルを右に切ってしまうと対向車線にはみ出してしまう。

**このような運転を!****✓ 道路がすいていても、制限速度を遵守。****✓ 歩道からジョギングをする人や散歩中のペットが、急に車道に出てくることも予測した運転。**

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。
日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。